

臨時学校運営協議会概要

- 1 日 時 令和元年7月25日(木) 18:00～
- 2 場 所 本校会議室
- 3 出席者 内藤会長以下10名の役員、本校職員3名
- 4 概 要
  - 1 北海道美瑛高等学校への支援の現状について
    - ・昨年度の実績を基に本校事務長より説明。支援項目の具体についての質疑応答があった。
  - 2 北海道美瑛高等学校への支援策に関する協議・意見交換
    - ①教頭よりCS設立時の考え方及び方向性について説明。
    - ②今年度継続的にお願いしたいもの及び新たにお願いしたいもの・見直したり検討したりすべきものに関する説明（裏面参照）
    - ③意見交換（自由協議）

※委員より出された意見（支援策について）

  - ・新たに事務局から提案のあった教育講演会は実施の方向で了承
  - ・学校HPがリニューアルし、大変好評である（読者が「投票」することが可能であり、委員の中には投票して下さった方もいた）
  - ・昨年度行われた行事についてはさらなる充実を図ってほしい。特にキャリア教育に力を入れていることが感じられるので学校行事はもちろん「カタリバ」や「大雪青年の家の企画への参加」等、外部企画等への積極的参加を通じて課題発見・解決能力や社会人基礎力等をしっかり伸ばしてほしい。
  - ・他校の事例を示していただいたが、その中で本校も実施できるものについては検討しても良いのではないか
  - ・町の立場からすれば支援を生徒募集の材料としてだけでなく、その支援策を用いた教育力の成果を示してほしい。その結果が次年度への支援に繋がるし、生徒募集にも繋がっていくと考える
  - ・多くの特色ある取組を学校運営協議会としても打ち出していきたい。生徒の活動を積極的に支援していきたい。

※生徒募集について

  - ・今北海道全域において中学生が減少傾向にある中で、学校の魅力を発信することが最重要だと考える。その魅力発信についてはとりもなおさず学校の「どんな生徒を育てていくのか」ということともリンクすると思う
  - ・学校運営協議会の委員だけではなく、現場の先生方や生徒の意見や要望も吸い上げた中で、効果的な方策を立てることも必要だと考える。特に先生方からは様々な意見や考えを聞いてみたい
  - 3 まとめ
    - ・近日中に会議の概要をまとめ、次回さらなる検討をしていくことを確認し、会を閉じた

## 令和元年度北海道美瑛高等学校への支援について

- 1 継続的にお願いしたいもの（会議資料2～4ページまで）
- 2 今年度新たにお願したいもの・導入について協議・検討していきたいもの
  - ①学校運営協議会の運営に係る研修会について（会議資料8ページ参照）
  - ②他校での事例について（会議資料9ページ参照）
  - ③その他
- 3 見直すべきもの・検討の必要のあるもの
- 4 その他

他校における支援事業（本校が既に受けているもの・類似したものは除く）例

- 1 高体連等出場経費補助  
高体連・高野連・高文連・吹連主催の大会出場経費を全額補助
- 2 進路指導強化対策費補助  
（進学に向けた学力テスト・模擬試験等の経費を補助）  
（大学・短大・専門学校等への学校視察経費の補助）  
予備校在宅受講コース（通期講座）の受講料を補助
- 3 資格取得等対策費補助  
（英検・漢検・簿記・情報処理等の資格取得試験の経費を補助）
- 4 （入学支度金補助）
- 5 （海外短期留学・長期留学）
- 6 特色ある学校づくり推進事業補助  
学力向上支援対策として、夏・冬休み学習サポート教室を実施  
部活動支援対策として、トップアスリートなどの外部指導者を招へい
- 7 大学等入学資金貸付
- 8 （町外からの通学支援）
- 9 国公立大学入学者支援
- 10 英語教育の推進強化  
外国人英語指導助手を重点配置し、英語力の強化
- 11 学校給食の提供  
希望者に対し、町の学校給食を提供
- 12 学校運営協議会コーディネーターの設置